



「いきいき なかよく のびのびと 笑顔あふれる 稲野小学校」

伊丹市立稲野小学校長 片山 尚

## もうすぐ夏休み！

明日はいよいよ1学期の終業式です。昨年は夏休みが短かったこともあり、子どもたちは折り数えてこの日を待っているのではないのでしょうか。今年の夏休みは、コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、夏の学習会や水泳教室、自由プール等については自粛させていただく予定です。その分、各家庭にご負担をおかけすることもあると思いますが、どうぞご理解をお願いいたします。また、夏季休業中は特にコロナ対策や熱中症予防に加え、水難事故や交通事故などの心配もあります。学校でも夏季休業中の安全な暮らしについてしっかりと指導いたしますが、ご家庭でも注意喚起等をよろしく願いいたします。

## 夏季休業中のタブレット持ち帰りについて

先日も伊丹市総合教育センターからのお手紙でお知らせしましたが、夏季休業中に、子どもたちが普段学校で使用しているタブレットを持ち帰ります。学年によってはタブレットによる課題を出している場合もありますが、基本的には伊丹市総合教育センターの『みんなの学習クラブ タブレット』や文科省の『子どもの学び応援サイト』等を利用して、夏季休業中の学習に役立てていただくことを目的としています。また、夏休みの自由研究などにも役立ててもら



えればと考えていますが、ご家庭でもご協力をいただかなければならないこともあります。お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 6年生、「浮いて待て教室」



先日、6年生がプールで着衣水泳を体験しました。講師として水難学会指導員（消防士）の方々に来ていただき、命を守る具体的な方法について教えていただきました。

救助を待つ間、いかにして浮いて待つことができるかが命の無事を左右します。ペットボトル1つあればかなり体を浮かせることができますが、ペットボトルがなくても息をしっかりと吸って体の力を抜けば浮けることを教わりました。5分間、浮いていられるかのテストでは、ほとんどの人がクリアできていたので、消防士のみなさんも驚いておられました。

また、他にも洪水などの時には、体の向きを流れに正対するようにしなければ、流されてしまうことや、友達が溺れそうになっていたとしても、決して自分が水に入って助けに行ってはダメ、いけない、そういう場合はまず大人に知らせることが大切だということも教えていただきました。ランドセル等を利用して体を浮かせられることや、釣り竿でできる人命救助なども見せていただきました。

夏季休業中には海や池、川などでの水難事故が多発します。いざという時に自分の命を守るためにも、今回の「浮いて待て教室」は非常に有意義な時間となりました。この経験はきっといざという時に活かされると思いました。